RAMP

1. 動作概要

Tera Termから入力される文字列をライトコマンドを使ってRAMへパリティを付加して保存します。
リードコマンドでRAMへ保存したデータをパリティチェックを行い、Tera Termへ表示します。

2. 各設定

UART		: UT1TXDA (PortU5)
		: UT1RXD (PortU6)
シリアルポート設定	ボーレート	: 115200(bps)
	データ	: 8(bit)
	パリティ	: なし
	ストップ	: 1(bit)
	フロー制御	: なし

3. 基本動作

Tera Term 画面「Command >」と表示されるので、"write "+文字列とコマンドを入力しEnterキーを押します。
入力されたデータおよびRAMに書き込まれたデータを読み出したデータが下記のように表示されます。

```
Command > write TOSHIBA
write > TOSHIBA
read  > TOSHIBA
Command >
```

4. 特記事項

入力データが"write"以外の場合は、再度「Command >」が表示され、入力待ちになります。